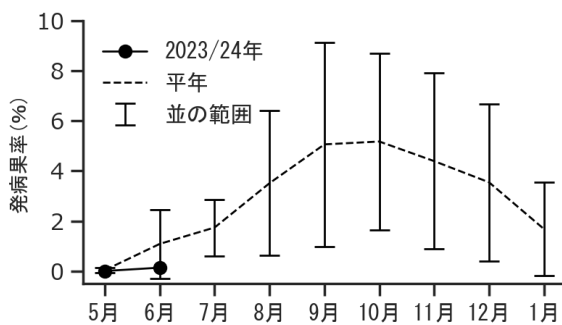


作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	6 月の発生量（平年比）	並	
予 報	6 月からの増減傾向	↗	
	7 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

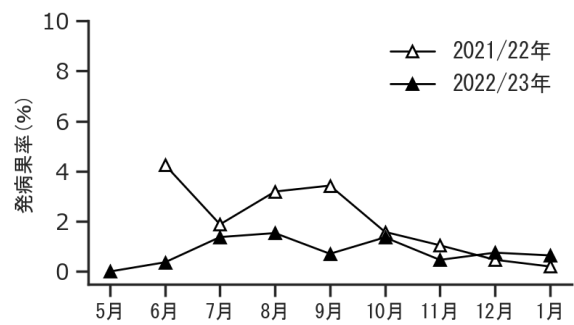


調査結果

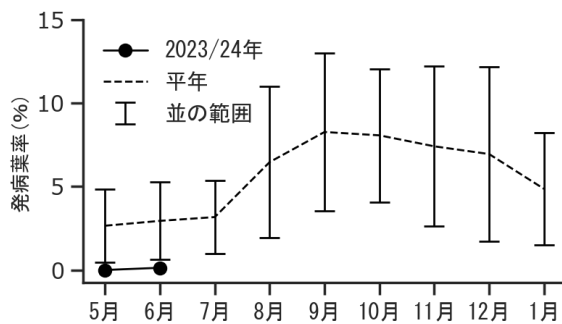
発病果率の推移（今期と平年）



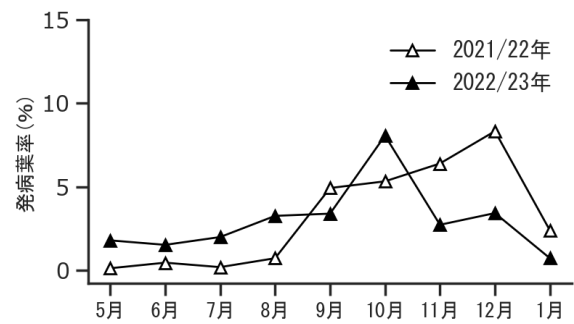
発病果率の推移（過去 2 年）



発病葉率の推移（今期と平年）



発病葉率の推移（過去 2 年）




- ・ 果実の発病度0.0（平年0.2）
- ・ 発生ほ場率20.0%（平年：42.2%）

防除のポイント

- ・ 罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口（風傷）は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。
- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。



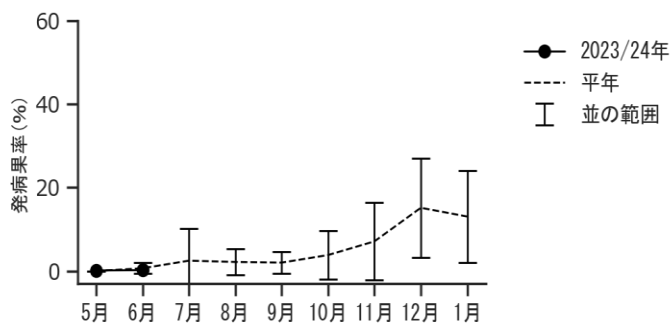
被害葉→

作物	かんきつ（タンカン）		地域	沖縄群島	
病害虫名	② 黒点病				
調査結果	6 月の発生量（平年比）	並			
予報	6 月からの増減傾向	↗			
	7 月の発生量（平年比）	並			
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）			

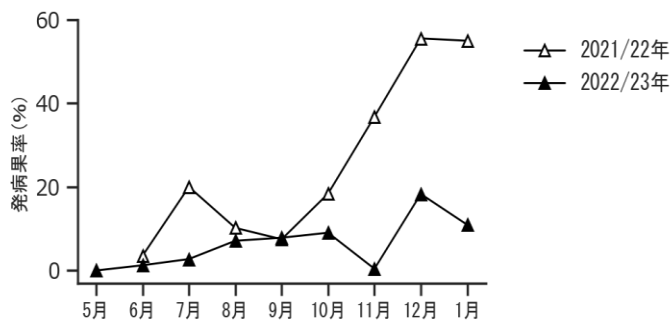
調査結果

発病葉率の推移

<今期と平年>



<過去2年>



- ・ 果実の発病度0.0（平年3.2）
- ・ 発生ほ場率40.0%（平年：13.3%）

防除のポイント

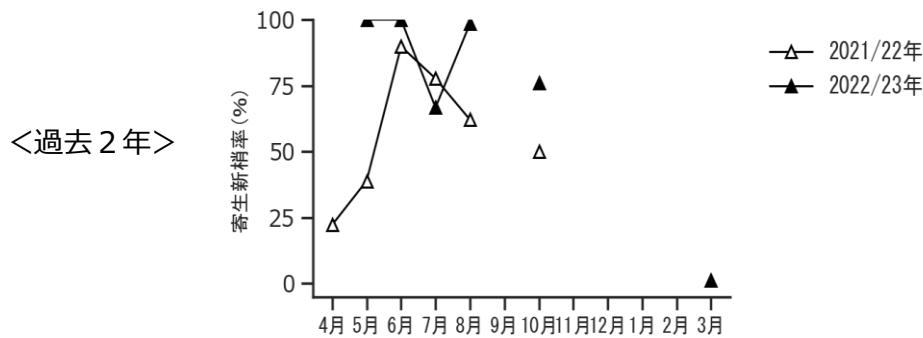
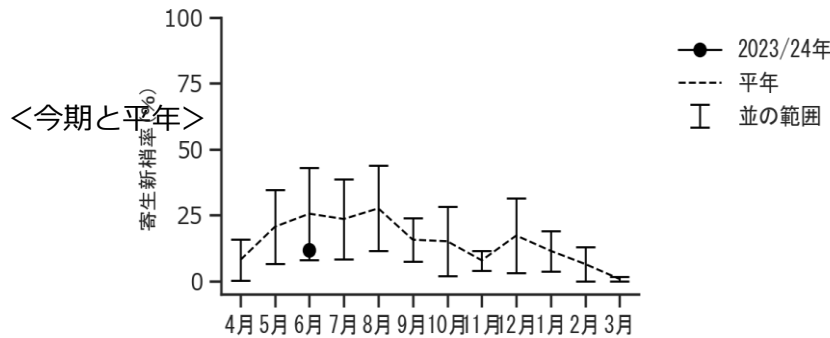
- ・ 周辺の防風樹も含め、枯れ枝は除去する。
- ・ ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ミカンハモグリガ		
調査結果	6 月の発生量（平年比）	並	
予報	6 月からの増減傾向	→	
	7 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）	



調査結果


寄生新梢率の推移



・発生ほ場率100%（平年：73.7%）

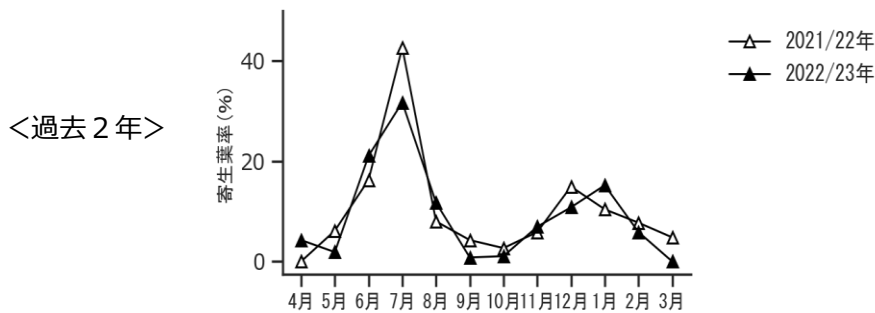
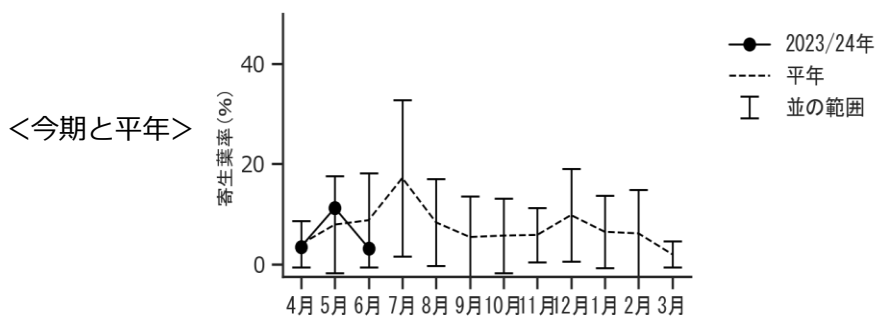
防除のポイント

- ・食害痕にかいよう病が感染して伝染源になるので、被害葉の除去に努める。
- ・被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ハダニ類		
調査結果	6 月の発生量（平年比）	並	
予報	6 月からの増減傾向	↗	
	7 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果

寄生葉率の推移



- ・発生種：ミカンハダニ
- ・発生ほ場率60.0%（平年：39.1%）

防除のポイント

- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状